

令和7年(2025年)5月14日<No-5>

長野県松本家畜保健衛生所
〒390-0851 松本市島内西川原 6931
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101
E-mail:matsukachiku@pref.nagano.lg.jp
中信家畜畜産物衛生指導協会
TEL:0263-47-6789

かほだより

酪農生産性向上対策事業の 前期バルク乳検査が始まります



松本家畜保健衛生所では今年も生産者団体に協力をいただき、年2回のバルク乳細菌検査を行います。

併せて牛ウイルス性下痢 (BVD) ウイルスの遺伝子検査も行います。
採材・検査へのご協力をお願いします。

第1回目(前期)の採材日程

南信酪農業協同組合・・・5月26、27日、6月2日
JA 大北, JA あづみ・・・6月9日
JA 松本ハイランド・・・6月10日
JA 木曽, その他の酪農家・・・6月中旬～下旬

※詳細は別途家保又は生産者団体から連絡します。

バルク乳中の体細胞数と細菌数から分かること

細菌数だけが多いとき

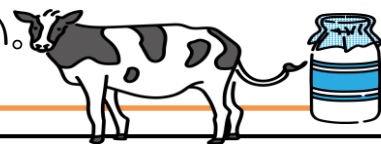
搾乳機器の劣化や、搾乳ラインの洗浄不足による乳石の蓄積などによって、耐熱性菌や低温細菌が分離されている可能性があります。

搾乳機器の点検や洗浄方法の見直しを実施しましょう。

細菌数と体細胞数が多いとき

乳房炎牛に注意しましょう。
特にレンサ球菌が原因の乳房炎は、慢性化すると乳汁中への排菌数が多くなります。再発が続く場合は、難治性乳房炎の原因菌である、ウベリスの検査をお勧めします。

検査の結果、バルク乳から BVD ウイルスや乳房炎の原因菌が検出された場合は、個体乳の検査による感染牛の特定や、搾乳立会等による問題点の検討も可能ですので、当所までお問い合わせください。



TEL:0263-47-3223

しあわせ信州

(問合せ先)
保健衛生課
神戸(課長)、瀧澤(担当)